



かとう みえこ
加藤 美江子

こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

市政に女性の声の反映を

問 女性役員の比率が高い企業グループは、低いグループに比べると売上高、利益率が4割以上も上回るとの海外の調査結果もあり、女性の意見を企業経営に取り入れれば、その企業の発展だけではなく経済全体の底上げにもつながる。

市政においても、女性職員の意見を積極的に取り入れることが望まれるが、女性職員との懇談会の開催は。

答 女性職員に特化した懇談会は開催していないが、女性職員活躍セミナーを毎年実施している。職場の中で女性の感性を生かした提言をしてもらうことで、職場の活性化につなげたいと考えていることから、今後もそういったセミナーを続けていきたい。

また、新規採用者から部長まで階層別の研修を実施しており、その中で市長と自由に意見交換できる場を設けている。

その場では、自然な形で女性職員が市長に質問をしたり、意見を述べたりしていることから、今後も、女性職員が自由に意見を言うことができる場所を設けていきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

○「人権」について

●人権課としてLGBTをどのように啓発しているか

●教育現場でLGBTをどのように啓発しているか

●「同性パートナーシップ宣誓制度」をどのように考えるか

○認知症対策について

○顧問弁護士の実情と任期更新の考え方は など



▲いろいろな性について考えよう（啓発用パンフレット）



さとう ゆうき
佐藤 有毅

いっ しん かい
一 津 会

津市立幼保連携型認定こども園の状況は

問 4月に開園する幼保連携型認定こども園（津みどりの森こども園、香良洲浜っ子幼児園、白山こども園）への入園児の状況等は。

職員への研修や、運営に向けての課題への対応については、どのように行われているのか。

今後のこども園の整備については、待機児童解消に向けて、どのような検討がなされているのか。

答 開園に向けての状況は、幼稚園コースの利用予定園児数がこれまでとほぼ同数なのに対し、保育園コースの園児数は増加見込みであり、保育提供量の確保という、こども園の設置目的を果たすことが見込まれる。

職員研修や課題への対応としては、保育士と幼稚園教諭の合同研修会や、こども園検討会議において運営管理の検討やカリキュラム作成を保育士と幼稚園教諭が一緒に行うなど、情報共有を図っている。

こども園では、幼児教育と保育の両方を提供でき、不足しがちな保育需要にも対応できることから、今後の整備については、次期子ども・子育て支援事業計画の策定段階で、市民の意見も踏まえながら地域の実情等に合わせ、検討を進めていきたい。

●その他の質疑・質問●

○平成30年度津市一般会計予算

●子ども・子育て支援事業、農業振興支援事業、名松線利活用関係事業について

○平成30年度施政方針

●観光施策の実践について

●市民の健康づくりについて

○平成30年度教育方針

●職員が子どもたちと向き合う時間の確保について など



▲津市立で初めての幼保連携型認定こども園が4月から開園